

mashiro yoshimaro
真城義磨 著

仏教 なるほど 相談室



今、私たちは生活のなかで宗教を身近に感じるものが少なくなったような気がします。しかし、日本では、誕生から葬儀まで、さらにその後も節目ごとに宗教（仏教）との関わりをもち、その時間や場を大切にしてきた歴史があります。その歴史は、親や祖父母から教えられ、受け継がれてきたものですが、今の時代状況や家族構成の変化のなかでその機会は失われつつあり、仏教の習慣や仏教語についても、少しは知っていても、その内容や意味がよくわからないという人も多いのではないのでしょうか。

そこで、日常生活のなかで出てくる青少年の素朴なギモンにできるだけわかりやすく答える「仏教なんでも相談室」（月刊誌『同朋』）2016年7月号〈

2019年6月号・東本願寺出版発行）の連載が始まりました。本書は、その連載を単行本化したものです。仏教に関するあらゆる事柄を網羅しているわけではありませんが、「ふむふむ。なるほど」と頷いてくださる項目や、「そうだったのか」と膝を打つページもあるかと思えます。

「今さら、親や他人に聞くのも」と、何となく曖昧にしていたことや、誰に聞いていいかわからないこと、念のため確かめたいこと、単純にわからないことなどに答えています。もちろん、ここに書かれていることが「正解」で、これ以外は認められないというわけではありません。あくまで筆者の考えを示させてもらったものです。この本を読んで興味や関心をもつたら、さらにいろいろな場へ足を運んでお話を聞いたり、本を読んだりしてほしいと思います。

人間を見つめ、存在することの意味を確かめ、与えられる環境やご縁を、大切なこととしてごまかさずに引き受けていける教えが仏教です。その仏教は、「財力・権力・体力・知力・家庭環境等々がいかにレベルアップされても解決

できない問題がある」という、ゴータマ・シツダッタ（後のブツダ、お釈迦さま）という一人の青年の問いから始まりました。ゴータマは、財力等の向上の道を棄てて出家し、さまざまな師から学び、苦行に堪え、またそれらをも離れて、自らの心の内と外を徹底的に見抜き見通して、「縁起の法」という真理に到達しました。そこから現実の課題とその因・縁を明らかにし、目指すべき目的地とそのための方針を実践を示されたのです。

問うことから始まるのです。ただ通り過ぎたり、「あたり前」とせず、問うことを大切にしてほしいと思います。

この本が、そういう仏教への入り口になればと願っています。

真城義麿

仏教なるほど相談室 もくじ

はじめに……2



1 仏教のギモン

仏像はどれも「仏さま」？……………	10
お葬式や法事では、なぜ「お経」をとるの？……………	14
仏教の儀式では、なぜ合掌するの？……………	18
「さとり」とは？……………	22
厳しい修行を積んだ人が立派なお坊さん!?……………	26
お坊さんは髪の毛を剃らなくていいの？……………	30
仏像はなぜパンチパーマ？……………	34

なぜたくさん宗派があるの？
お経はなぜ漢文で書かれているの？
嘘も方便

「花まつり」とは？

「三帰依文」ってどんな意味？

2

宗教のギモン

天国や地獄って本当にあるの？

宗教やお寺は生きる上で必要？

宗教には「洗脳」のイメージがあるけれど…

戦争と宗教

「道徳」と「宗教」はどう違うの？

自分が信じる宗教は、どう決めればいい？

38

42

46

50

54

60

64

68

72

76

80

AIの進歩で宗教は不要になる!?

コラム お釈迦さまの呼び名…88

84



真宗のギモン

「ナムアミダブツ」はご利益がある言葉？

お内仏に掛かっている方は誰？

お祈り・瞑想をしなくていいの？

「悪人こそが救われる」とは？

「他力本願」の意味は？

「ナムアミダブツ」と称えるだけで極楽浄土にいける？

お勤めにはロウソク・線香が必要!?

「報恩講」はどんな仏事？

コラム 仏教にまつわる年中行事

122

90

94

98

102

106

110

114

118



1 仏教のギモン



4

まだまだあるある みんなのギモン

人は死ぬのに、なぜ生きなくてはならないの？

「いただきます」は宗教と関係があるの？

神社やお寺での合格祈願に効果はあるの？

「縁起」とは？

仏教徒は初詣やクリスマスに参加してはダメなの？

「仏さまが見ているよ」ってホント？

学校でいじめが起きていて…

家族葬

「お寺は祈るところではなく、お礼を言うところ」

156 152 148 144 140 136 132 128 124


 仏教のギモン 1

いろんな仏像があつて、どれも「仏さま」と言
つていますが、それならお釈迦さまや、阿弥陀
如来、ブツダなどは、同じ仏さまですか？

観音さまや、お地藏さま、お不動さまなどはど
うですか？

仏教にはいろいろな宗派があり、さまざまなお寺にたくさんの「仏
さま」がおられます。真宗の寺院に安置されているのは阿弥陀如来
ですが、他の宗派では、釈迦如来・大日如来・薬師如来、観音菩
薩・地藏菩薩、不動明王、あるいは帝釈天・梵天などの仏像が、
お堂に安置されています。また、亡き人を「諸仏」や「仏さま」と
呼ぶこともあります。

今から二千五百年ほど前、インド北方でゴータマ・シツダッタと
いう名の釈迦族の王子が真理に目覚めてブツダ（仏陀・仏）となら
れ、この方が人々に語った教えが仏教となりました。釈迦牟尼（釈
迦族出身の聖者）や釈尊と呼ばれています。いわゆる「お釈迦さま」
です（88頁参照）。

そのブツダとなった釈尊が、人々の苦悩に応じて語った言葉（経

典)のなかに、阿弥陀仏(阿弥陀如来)・大日如来・薬師如来など、さまざまな仏(如来)が登場してくるのです。

阿弥陀如来は、現在も極楽浄土で説法をしているといわれ、すべてのいのちあるものを救うと約束された仏です。大日如来は、宇宙そのものと一体の法(真理)を人格化したと考えられる仏です。薬師如来は衆生(いのちあるすべてのもの)の病苦を救うとされています。「如来」とは仏の異名ですが、言葉や形で表せない真如(覺りの世界)から私たちを導くためにはたらきかけて来られたお方として「如来」と言います。

観音菩薩などの「菩薩」は、覺りを求めている方が仏になる前の段階で、衆生の救済にあたります。地藏菩薩、文殊菩薩、勢至菩薩、弥勒菩薩、虚空蔵菩薩、普賢菩薩、日光菩薩、月光菩薩などがある名です。

不動明王などの「明王」は、「仏の智慧を身につけた偉大な人」の意味で、仏教に帰依しない者に怒りの表情で迫っています。

梵天や四天王など「天」は仏教の守護神で如来の周りに配置されます。

また、阿弥陀如来の本願(無条件に救うという願い)のはたらきによって浄土に往生された方々は、そこで成仏して「諸仏」の仲間入りをされます。この方々も「仏さま」と呼ばれます。